

把 手 共 行

第34回 日本リウマチ学会 関東支部学術集会

The 34th Scientific Meeting of Japan College of Rheumatology Kanto Branch

会期 2024年12月7日(土)・8日(日)

会場 虎ノ門ヒルズフォーラム

会長 天野宏一

(埼玉医科大学総合医療センターリウマチ・膠原病内科)

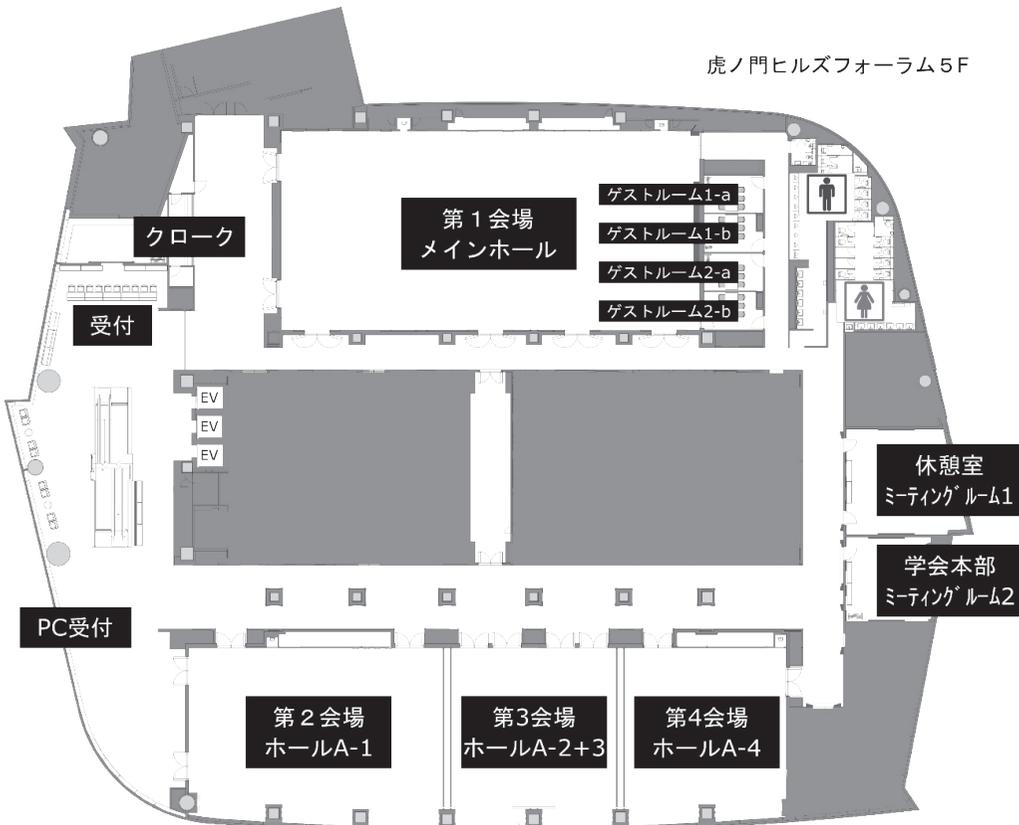
プログラム・抄録集

虎ノ門ヒルズフォーラム

〒105-6305 東京都港区虎ノ門1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー 5階



虎ノ門ヒルズフォーラム 5F



第34回日本リウマチ学会 関東支部学術集会

プログラム・抄録集

会 期：2024年12月7日(土)・12月8日(日)

会 場：虎ノ門ヒルズフォーラム

会 長：天野 宏一（埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科）

学術集会事務局

埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981

運営事務局

一般社団法人会議支援センター

〒104-0041 東京都中央区新富2-4-14 新富田所ビル4階

TEL：03-6222-9871 / FAX：03-6222-9875

E-mail：a-csc@a-csc.org

学術集会ホームページ

<https://www.34jcrkanto.jp/>

CONTENTS

巻頭言	1	抄録	
一般社団法人日本リウマチ学会関東支部	2	JCR関東支部地域教育研修会	32
参加者の皆様へ	3	教育研修講演	34
登壇者へのお願い	4	会長特別企画シンポジウム	40
利益相反の開示について	6	企画セミナー	47
単位取得のご案内	7	ランチョンセミナー	53
単位を取得できる講演一覧	8	アフタヌーンセミナー	67
プログラム	11	イブニングセミナー	73
		スポンサードセミナー	74
		ハンズオンセミナー	76
		一般演題	77
		一般演題（学生・研修医）	106
		協賛企業一覧	115

巻頭言

12月7日と8日の2日間の日程で第34回日本リウマチ学会関東支部学術集会を虎ノ門ヒルズフォーラムで開催させていただきます。

コロナウイルス感染症は完全には終息していませんが、第5類感染症となって学会も現地で行われるようになり、従来のようにface-to-faceのdiscussionができるようになってきました。本学会も現地開催として、多くの会員の皆様にご参加いただき、ご参加の皆様にとって実り多い学会にしたいと思います。

膠原病・リウマチ性疾患は全身性疾患であり、多彩な臓器病変を有することから、他の診療科との連携が欠かせません。加えて看護師、薬剤師、検査技師などコメディカルスタッフや、事務系スタッフの協力の下で適切な診療が成り立っています。これらの他の診療科の医師や医療スタッフと共に手を振り合って診療を進めていくことが大切であり、本学会のメインテーマを「把手共行（はしゅきょうこう）」としました。その中で、専門の異なる医師同士のdiscussionを本学会で実践したいと思い、腎臓内科と膠原病内科とのループス腎炎、呼吸器内科と膠原病内科との炎症性筋疾患に合併した間質性肺炎、循環器内科と膠原病内科との膠原病に合併した肺高血圧症、整形外科と内分泌内科での骨粗鬆症、皮膚科と膠原病内科との乾癬性関節炎、眼科と膠原病内科とのぶどう膜炎合併膠原病、という6つのセミナーを企画しました。また、関節リウマチなどのリウマチ性疾患の診療ではクリニックの先生方が多くの患者さんの診療に携わっておられますが、機関病院での診療とは異なるご苦労や課題もあると思います。このようなクリニックを開業されている先生方の生の声を聞く機会として特別企画を設けました。その他、企業のご支援をいただき、スポンサードセミナー、ランチョンセミナー、アフタヌーンセミナー、イブニングセミナー等でも、オピニオンリーダーの先生方のご講演を予定しています。最近ではrheumatologistにとって必修の手技となっている関節エコーのハンズオンセミナーも開催致します。

多くの先生方にご参加いただき、ご参加の皆様の知識、技術の向上と、診療や研究にお役にてるような学会になることを祈念致します。

第34回日本リウマチ学会関東支部学術集会

会 長 天野 宏一

(埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科)

一般社団法人 日本リウマチ学会関東支部

■ 関東支部代表(敬称略、順不同)

桑名 正隆 (日本医科大学大学院医学研究科 アレルギー膠原病内科学分野)

門野 夕峰 (埼玉医科大学病院 整形外科・脊椎外科)

(任期：2023年4月24日～2025年4月25日)

■ 関東支部運営委員

猪狩 勝則 (東京女子医科大学整形外科)

金子 祐子 (慶応義塾大学医学部リウマチ・膠原病内科)

田中 栄一 (東京女子医科大学膠原病リウマチ内科)

稲葉 裕 (横浜市立大学医学部整形外科)

山岡 邦宏 (北里大学膠原病・感染内科)

中島 新 (東邦大学医療センター佐倉病院整形外科)

天野 宏一 (埼玉医科大学総合医療センターリウマチ・膠原病内科)

松本 功 (筑波大学医学医療系内科膠原病・リウマチ・アレルギー)

池田 啓 (獨協医科大学リウマチ・膠原病内科)

岡邨 興一 (群馬大学医学部整形外科)

(任期：2023年12月16日から2025年関東支部学術集会まで)

参加者の皆様へ

[参加受付]

学術集会にご参加いただくにあたり、必ず参加受付を行ってください。

▷場 所：虎ノ門ヒルズフォーラム5F ホワイエ

▷受付時間：12月7日（土） 7：30～17：00

12月8日（日） 8：00～15：00

▷参加費：一般（会 員）10,000円（非課税）

一般（非会員）10,000円（税込み）

医学部生・医学研究科大学院生・臨床研修医 無料

※現金のみの取り扱いとなります。

※学生と臨床研修医の参加費は無料です。

※学生の方は学生証、臨床研修医の方は所属長からの証明書（書式自由）を受付にご呈示
ください。

※証明書の書式は大会ウェブサイトからダウンロードできます。

※証明書がない場合は、参加費（10,000円）を申し受けます。

※後日証明書を提出いただいても、参加費の返金はいたしません。

[抄録集]

- 紙媒体での発行はございません。学術集会HPより閲覧、ダウンロードください。

[クローク]

手荷物は利用時間内にお引き取りください。傘、貴重品のお預かりはできません。

▷場 所：虎ノ門ヒルズフォーラム 5Fクローク（第1会場前）

▷受付時間：12月7日（土） 7：30～18：00

12月8日（日） 8：00～17：30

[ハンズオンセミナー]

- 事前参加登録となります。学術集会HP「ハンズオンセミナー」よりお申込みください。
- ハンズオンセミナーのみ参加の方も、学術集会の参加登録が必須となります。

[その他]

- 講演会場内での許可のない撮影、及び録音は禁止します。
- 講演会場内では携帯電話は電源をお切り頂くかマナーモードに設定の上、通話をご遠慮ください。
- 館内は全館禁煙となっております。

登壇者へのお願い

[座長の先生へ]

- ご担当のセッションの開始時間15分前までに会場にお越しいただき、次座長席におつきください。
- 進行は時間厳守でお願いいたします。
- 一般演題座長の先生は下記「優秀演題賞」の選考をお願いいたします。

[優秀演題賞について]

- 一般演題の各セッションから1名に「優秀演題賞」を授与いたします。
- 一般演題座長の先生は当日、「優秀演題賞」の選考をお願いいたします。
※当日、セッション開始前に、会場の運営スタッフから選考用紙をお渡しいたします。
1名を選考のうえ、運営スタッフにお渡しください。
- 閉会式において優秀演題賞の表彰を行います。

[演者の先生へ]

- 口演発表用のPowerPointスライドをご用意ください。
- 発表予定時間の30分前までにPC受付に発表スライドをご登録ください。
- ご発表時間の10分前までに、会場前方の次演者席におつきください。
- 一般演題の演者の先生方は、上記優秀演題賞の表彰がございますので閉会式にご参加をお願い致します。
- 各セッションの発表時間は以下の通りです。

セッション名	発表時間
会長特別企画シンポジウム	発表10分 総合討論50分
企画セミナー	発表30分 総合討論30分
一般演題	発表6分 質疑3分

[PC受付]

場 所	虎ノ門ヒルズフォーラム 5Fホワイエ
受付時間	12月7日（土）7:30～17:00 12月8日（日）8:00～15:00

[講演機材について]

講演会場には下記の発表機材を用意いたします。発表スライドが下記の環境で動作するか、必ずご確認ください。

▷PC :Windows 10

▷ソフトウェア : Microsoft PowerPoint 2021,365

Windows Media Player 12 (動画・音声ファイルの再生用)

[発表スライドについて]

下記の仕様に従い作成してください。

- 文字化けを防ぐため、Windows 標準のフォントをご利用ください。
- 画面サイズは【FullHD（1920×1080）、横：縦＝16：9】を推奨しております。
- ファイル名は【セッション名_氏名】としてください。
例：一般演題1_リウマチ太郎
- スライドデータはUSBメモリ等に入れてお持ちください。
- 動画や音声ファイルがある場合は、必ずオリジナルデータも一緒にUSBメモリに保存してください。
- お持ちいただくデータは、最新のウイルス駆除ソフトでスキャンしてください。

[PCの持ち込みについて]

Macintosh、もしくはご自身のPCで発表をご希望の場合は、下記をご確認の上、PCをお持ち込みください。

- PC受付にて必ず動作確認をしてください。
- PCにHDMI出力端子が無い場合は、必ず変換コネクタをご持参ください。
- 電源アダプターを必ずお持ちください。

利益相反の開示について

[開示について]

本学術集会での演題発表者は、利益相反の有無にかかわらず、発表時にその開示を行う必要があります。

詳細は【一般社団法人日本リウマチ学会における事業活動の利益相反（COI）に関する指針】をご確認ください。

<https://www.ryumachi-jp.com/guidance/coi/>

[開示方法]

開示用スライドを作成し、発表スライドの1枚目に挿入してください。スライド見本は

利益相反あり

<p>第34回日本リウマチ学会関東支部学術集会</p> <p>演題名</p> <p>ご所属 筆頭演者名</p> <p>利益相反の有無：有 ※この演題の発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業名： XXX製薬株式会社、XXX製薬株式会社</p>

利益相反なし

<p>第34回日本リウマチ学会関東支部学術集会</p> <p>演題名</p> <p>ご所属 筆頭演者名</p> <p>利益相反の有無：無 ※この演題に関連し、開示すべきCOI関係にある企業はありません。</p>

[申告の対象者]

筆頭発表者、及びその配偶者、一親等内の親族、生計を共にする者も含めて、演題提出時から遡り過去3年間における利益相反状態の有無を申告してください。

詳細は【一般社団法人日本リウマチ学会「事業活動の利益相反に関する指針」の細則】をご参照ください。

<https://www.ryumachi-jp.com/pdf/COI.pdf>

[利益相反の基準]

【一般社団法人日本リウマチ学会「事業活動の利益相反に関する指針」の細則】に記載の項目を基準として申告ください。

<https://www.ryumachi-jp.com/pdf/COI.pdf>

[利益相反に関するお問い合わせ]

一般社団法人 日本リウマチ学会

〒105-0013 東京都港区浜松町2-9-6 浜松町エムプレスビル3階

TEL: 03-6435-9761 / FAX: 03-6435-9762

Email: gakkaih@ryumachi-jp.com

単位取得のご案内

[日本リウマチ学会 専門医]

- 本学術集会への参加で5単位を取得できます。
- 専門医の方は専門医手帳をご持参の上「日本リウマチ学会事務局」デスクまでお越しください。

[各種講演単位の申請に関するご注意]

- 単位申請書は受付付近の記名台に設置いたします。単位申請をご希望の方は講演開始時刻までに、申請書を単位登録デスクまでご提出ください。
- 講演会場へは定時に入場してください。途中入退場される場合は単位を取得できません。
- 申請料の払い戻しは致しませんのでご注意ください。
- 単位を必要としない方の聴講は無料です。
- いずれの研修講演も、重複した時間での講演は1つのみの選択となります。

[日本リウマチ学会 教育研修会]

- 教育研修会の受講で各1単位取得できます。
- ご希望の方は申請料（1単位につき1,000円）を添えて申請書を単位登録デスクまでご提出ください。

[日本リウマチ財団 登録医／リウマチケア専門職 教育研修会]

- ご希望の方は申請料（1単位につき1,000円）を添えて申請書を単位登録デスクにご提出ください。申請と引き換えに単位取得証明書をお渡しいたします。

[日本整形外科学会 教育研修会]

- ご希望の方は申請料（1単位につき1,000円）を添えて申請書を単位受付にご提出ください。
- 講演受講の際に日整会アプリ「JOINTS」のQRコードが必要です。会場入口のカードリーダーで出席登録をしてください。※講演開始10分前～講演開始10分後まで
- 「JOINTS」のQRコードがない場合は、カードリーダー脇のリストに必要事項をご記入ください。
- 研修医の方は、研修手帳の押印欄に「ホームページ参照」と記載してください。

[日本専門医機構認定共通講習]

- 【JCR関東支部地域教育研修会1・2】は、専門医共通講習（感染・医療安全）として認定されています。ご希望の方は、申請書を単位受付にご提出ください。申請と引き換えに、専門医共通講習受講証明書をお渡しいたします。

単位を取得できる講演一覧

月日	時間	セッション名	演者	演題名	リウマチ学会	リウマチ財団 登録医 リウマチケア	日整会
12月7日	9:00～10:00	教育研修講演5	①二木 康夫	ロボット支援人工膝関節置換術の現状と今後の課題		06-264-01	N[6,12]R
	9:00～11:00	ハンズオンセミナー	②池田 啓	超音波による関節リウマチ評価の実践		06-265	N[6]R
	9:30～10:30	教育研修講演1	③奥 健志	抗リン脂質抗体症候群		06-264-02	N[1]R
	10:40～11:40	スポンサードセミナー1	鈴木 智	生物学的製剤時代のEGPA診療～長期予後を見据えた治療と合併症マネジメント～			N[6]R
		教育研修講演2	④野崎 太希	脊椎関節炎の画像診断アップデート		06-264-03	N[6,7]R
	12:00～13:00	ランチョンセミナー1	⑤望月 猛 ⑤林 太智	RA-ILDのマネージメントからみたバリシチニブの可能性/バリシチニブの臨床的価値一より良い関節リウマチ診療を目指して～		06-266-01	N[6]R
	12:30～13:30	ランチョンセミナー3	⑥中村 幸男 ⑥中島亜矢子	関節リウマチにおける関節破壊抑制メカニズムについて～ JAK阻害剤の可能性を探る～/診療ガイドラインと全例調査からJAK阻害薬の適正使用を考える		06-266-01	N[6]R
		ランチョンセミナー4	⑦野澤 和久	関節リウマチにおけるTNF阻害薬治療が適する患者について～ TNF阻害の意義を再考する～		06-266-01	N[6]R
	13:20～14:20	JCR関東支部 地域教育研修会1	⑧樽本 憲人	最新の薬剤耐性菌感染症の治療戦略	感染	06-264-04	N[6]R
	14:00～15:00	アフタヌーンセミナー1	⑨秋山 光浩 ⑨樋口 智昭	RAに合併する間質性肺炎にwindow of opportunityはあるか～ IL-6阻害の重要性含めて～ / RWDから腎障害合併関節リウマチに対する治療戦略を再考する		06-267-01	N[6]R
		アフタヌーンセミナー2	⑩荒木 靖人	医療経済の観点から関節リウマチ治療を考える		06-267-01	N[6]R
	14:30～15:30	教育研修講演3	⑪桐野 洋平	VEXAS症候群の診断と治療の現状		06-264-05	N[6]R
15:40～16:40	教育研修講演4	⑫杉原 毅彦	巨細胞性動脈炎とリウマチ性多発筋痛症の診断と治療		06-264-06	N[6]R	
17:00～18:00	イブニングセミナー1	⑬横田 和浩	関節リウマチ治療の新戦略～骨破壊メカニズムの観点から考えるJAK阻害薬使用の意義と展望～		06-268	N[6]R	
12月8日	10:40～11:40	教育研修講演6	⑭田巻 弘道	ANCA関連血管炎 ～診断から治療まで～		06-264-07	
		スポンサードセミナー2	⑮竹内 勤	新規TNF阻害薬オゾラズマブの最新知見		06-269	N[6]R
	12:00～13:00	ランチョンセミナー5	⑯秋山 光浩 ⑯花岡 洋成	間質性肺炎を考慮したRA治療戦略/慢性腎臓病と関節リウマチ リウマチ医の視点で腎臓を守る		06-266-02	N[6]R
		ランチョンセミナー6	⑰金子 祐子 ⑰川畑 仁人	SLE治療における生物学的製剤が果たす役割～アニフロルマブを中心に～/全身性エリテマトーデスの病態に関する最新知見～アニフロルマブの役割を考える～		06-266-02	
	12:10～13:10	ランチョンセミナー7	⑱高桑由希子 ⑱一瀬 邦弘	国内外のエビデンスからトファシチニブ安全性を考える/ JAK阻害薬のポジショニングを再考する～ 11年のエビデンスより～		06-266-02	N[6]R
	12:20～13:20	ランチョンセミナー8	⑲増本 純也 ⑲岸田 大	自己炎症疾患におけるIL-1βの活性化制御とその寄与/家族性地中海熱update		06-266-02	
	13:20～14:20	JCR関東支部 地域教育研修会2	⑳中島 勤	医療安全管理のために知っておきたい法的知識	医療安全	06-264-08	N[14-5]
	14:40～15:40	アフタヌーンセミナー3	㉑藤尾 圭志	関節リウマチにおける抗原提示細胞と共刺激阻害療法最新の知見		06-267-02	N[1,6]R
	14:50～16:50	アフタヌーンセミナー4	㉒川人 豊 ㉒川畑 仁人	RA診療ガイドライン2024の改訂ポイント～ MTX皮下注の有用性をふまえて～/関節リウマチにおけるメトトレキサート治療の最適化～ MTX皮下注のはたす役割を考える～		06-267-02	N[6]R

〔日本リウマチ財団 リウマチケア専門職 〔認定番号〕カリキュラムコード〕

①③ (06-252K・Y・R-01) /④ (-2) /⑤⑥⑦ (-3) /⑧ (-4) /⑨⑩⑪ (-5) /⑫ (-6) /⑬ (-7) /
⑭⑮ (-8) /⑯～⑲ (-9) /⑳ (-10) /㉑㉒ (-11) 各1単位
⑳ (-12) 2単位

看護師 [06-252K-01～12]

①②③④⑤⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑱⑲2-1
⑥⑧⑯⑰⑲⑳2-1・2-2
㉑3-2 ⑦2-2

薬剤師 [06-252Y-01～12]

①②③④⑨⑩⑫⑬⑭⑯⑰⑲⑲2-1
⑤⑥⑧⑪⑬⑮2-2 ㉑3-2
⑦⑰⑱2-2・2-3 ㉒2-1・2-2

理学・作業療法士 [06-252R-01～12]

①②⑨⑪⑬⑯⑰⑱㉒2-1・2-2
③④⑧⑩⑭2-1 ⑤⑥⑦⑫⑮⑲⑲2-2 ㉑3-2

〔日本整形外科の単位について〕

取得単位：〔N〕 日整会専門医単位 〔R〕 リウマチ医単位

必須分野：〔1〕 整形外科基礎科学 〔6〕 リウマチ性疾患、感染症 〔7〕 脊椎・脊髄疾患

〔12〕 膝・足関節・足疾患 〔14-5〕 1～13に当てはまらない領域講習

プログラム

[2024年12月7日(土)]

第1会場

9:00-10:30

**企画セミナー① 膠原病内科医と皮膚科医とで語り合おう
～乾癬性関節炎～**

P.47

座長：亀田 秀人（東邦大学医療センター大橋病院 膠原病リウマチ科）
朝比奈昭彦（東京慈恵会医科大学 皮膚科）

かんだ ひろこ
神田 浩子（東京大学 免疫疾患治療センター）

ふじた ひでき
藤田 英樹（日本大学医学部板橋病院 皮膚科）

10:40-11:40

スポンサードセミナー1

P.74

座長：松本 功（筑波大学医学医療系膠原病リウマチアレルギー内科学）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

**SS1 生物学的製剤時代のEGPA診療
～長期予後を見据えた治療と合併症マネジメント～**

¹順天堂大学医学部附属浦安病院 膠原病・リウマチ内科、²順天堂大学大学院 膠原病内科学講座

○鈴木 智^{1,2}、森本 真司^{1,2}、田村 直人²

12:00-13:00

ランチョンセミナー1

P.53

座長：田中 榮一（東京女子医科大学膠原病リウマチ内科）
三村 俊英（埼玉医科大学リウマチ膠原病科）

共催：日本イーライリリー株式会社

LS1-1 RA-ILDのマネジメントからみたバリシチニブの可能性

鎌ヶ谷総合病院
もちづき たけし
○望月 猛

LS1-2 バリシチニブの臨床的価値-より良い関節リウマチ診療を目指して-

医療法人NT クエストリウマチ膠原病内科クリニック
はやし たいち
○林 太智

13:20-14:50

企画セミナー② 膠原病内科医と眼科医とで語り合おう ～ぶどう膜炎合併リウマチ性疾患～

P.48

座長：岳野 光洋（日本医科大学武蔵小杉病院 膠原病リウマチ科）
 蕪城 俊克（自治医科大学さいたま医療センター 眼科）

岸本 暢將（杏林大学 リウマチ膠原病内科）

田中 理恵（東京大学 眼科）

15:00-16:30

企画セミナー③ 膠原病内科医と腎臓内科医とで語り合おう ～ループス腎炎～

P.49

座長：金子 祐子（慶應義塾大学 リウマチ膠原病内科）
 廣村 桂樹（群馬大学 腎臓・リウマチ内科）

花岡 洋成（埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科）

前嶋 明人（埼玉医科大学総合医療センター 腎臓・高血圧内科）

第2会場

9:30-10:30

教育研修講演 1

P.34

座長：保田 晋助（東京科学大学医学部 膠原病・リウマチ内科学）

EL1 抗リン脂質抗体症候群

北里大学 医学部 リウマチ膠原病・感染内科学

○奥 健志

10:40-11:40

教育研修講演 2

P.35

座長：門野 夕峰（埼玉医科大学 医学部 整形外科・脊椎外科）

EL2 脊椎関節炎の画像診断アップデート

慶應義塾大学医学部 放射線科学教室（診断）

○野崎 太希

12:00-13:00

ランチョンセミナー 2

P.55

座長：保田 晋助（東京科学大学医学部 膠原病・リウマチ内科学）

共催：キッセイ薬品工業株式会社

LS2 ANCA関連血管炎治療におけるアバコパンの役割

杏林大学 腎臓・リウマチ膠原病内科

○駒形 嘉紀

13:20-14:20

JCR 関東支部地域教育研修会 1 感染症

P.32

座長：天野 宏一（埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科）

JCR-EL1 最新の薬剤耐性菌感染症の治療戦略

埼玉医科大学病院 感染症科・感染制御科

○樽本 憲人

14:30-15:30

教育研修講演 3

P.36

座長：川畑 仁人（聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科）

EL3 VEXAS症候群の診断と治療の現状

横浜市立大学大学院医学研究科 幹細胞免疫制御内科学

○桐野 洋平

15:40-16:40

教育研修講演 4

P.37

座長：針谷 正祥（国際医療福祉大学 医学部）

EL4 巨細胞性動脈炎とリウマチ性多発筋痛症の診断と治療

東邦大学 医学部 内科学講座膠原病学分野

○杉原 毅彦

17:00-18:00

イブニングセミナー 1

P.73

座長：佐藤浩二郎（自治医科大学内科学講座 アレルギー膠原病学部門）

共催：アッヴィ合同会社

ES1 関節リウマチ治療の新戦略

～骨破壊進行のメカニズムの観点から考えるJAK阻害薬使用の意義と展望～

埼玉医科大学リウマチ膠原病科

○横田 和浩

9:00-10:00

教育研修講演5

P.38

座長：猪狩 勝則（東京女子医科大学 整形外科）

EL5 ロボット支援人工膝関節置換術の現状と今後の課題

藤田医科大学東京 先端医療研究センター

○二木 康夫

10:10-11:10

一般演題1 RA

P.77

座長：田中 榮一（東京女子医科大学膠原病リウマチ内科）

O1-1 心嚢液に原発したメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患を合併した関節リウマチの一例

¹国立国際医療研究センター 膠原病科、²国立国際医療研究センター 循環器内科、³国立国際医療研究センター 血液内科○若槻 実祐^{1,2,3}、山下 裕之¹、青崎真太郎¹、原田 拓弥¹、中道 悠介¹、黒住 篤優²、岡崎 徹²、廣井 透雄²、那須 涼³、半下石 明³、金子 礼志¹

O1-2 当科における関節リウマチに対するフィルゴチニブの有効性と安全性の検討

国立病院機構東京医療センター

○鈴木 勝也¹、田畑 広樹¹、羽磨 智史¹、小西美沙子¹、大重 達寛¹、泉 啓介¹、岡野 裕¹、大島 久二¹

O1-3 人工膝関節置換術後5年以上経過した関節リウマチ患者の膝関節機能および疾患活動性の評価

¹横浜市立大学附属病院、²横浜市立大学市民総合医療センター○田中 大貴^{1,2}、熊谷 研¹、三上 大輔¹、野村 綾子^{1,2}、勝山 陽太¹、山根 裕則¹、崔 賢民¹、稲葉 裕¹

O1-4 当院における関節リウマチに対するオゾラリズムブの使用成績

東海大学 医学部 内科学系 リウマチ内科学

○太田裕一朗¹、青木 海斗¹、大久 俊輝¹、志村 佳瑚¹、石井 晶¹、杉山 麻衣¹、佐々木則子¹、山田 千穂¹、佐藤 慎二¹

O1-5 喉頭腫瘍との鑑別を要した輪状被裂関節炎の関節リウマチの一例

聖マリアンナ医科大学病院 リウマチ膠原病アレルギー内科

○松井 隆之¹、鈴木翔太郎¹、櫻井 恵一¹、田中 雄大¹、殿園 晃平¹、殿岡久美子¹、大岡 正道¹、川畑 仁人¹

01-6 アダリムマブ再投与で発症した遷延性アナフィラキシーの一例

千葉県済生会習志野病院 リウマチ膠原病アレルギー科

○榎並^{えなみ} 奏^{かなで}、山本 託矢、小島祥太郎、高橋 成和、縄田 泰史

11:20-12:10

一般演題2 SLE

P.80

座長：花岡 洋成（埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科）

02-1 肝生検で原発性胆汁性胆管炎と自己免疫性肝炎（PBC-AIH overlap）を合併した全身性エリテマトーデス(SLE)の一例

埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科

○吉永^{よしなが} 正一^{しょういち}、青木 拓海、小坂 泰司、柴田 明子、酒井 亮太、倉沢 隆彦、
天野 宏一

02-2 若年女性の高度の半月体形成を伴うループス腎炎に対してリツキシマブを含めたマルチターゲット療法を施行した1例

¹虎の門病院分院 腎センター、²虎の門病院分院 病理部、³東京医科歯科大学医歯学総合研究科人体病理学分野

○羽根^{はね} 彩華^{あやか}¹、杉本 悠¹、栗原 重和¹、大庭 悠貴¹、山内 真之¹、諏訪部達也¹、
河野 圭²、大橋 健一³、乳原 善文¹、澤 直樹¹

02-3 グルココルチコイド(GC)ハーフパルス療法とベリムマブが奏効した抗dsDNA抗体陰性/抗Sm抗体陰性ループス腎炎の一例

¹埼玉医科大学病院 リウマチ膠原病科、²埼玉医科大学病院 腎臓内科、³埼玉医科大学病院 病理部

○鳥家^{とや} 陸寛^{りくひろ}¹、梶山 浩¹、山崎 光²、伊藤 瑞也²、深谷 大地²、石澤 圭介³、
横田 和浩¹、荒木 靖人¹、井上 勉²、舟久保ゆう¹、秋山 雄次¹、岡田 浩一²、
三村 俊英¹

02-4 全身性エリテマトーデス患者の糖質コルチコイド減量・休薬に対するアニフロルマブの効果

¹北里大学医学部、²北里大学メディカルセンター

○出井^{いけだ} 慶介^{けいすけ}¹、長谷川靖浩¹、吉岡 聖剛¹、次田 奈央¹、阪本 陽介¹、田中 知樹¹、
松枝 佑¹、和田 達彦¹、奥 健志¹、田中 住明^{1,2}、山岡 邦宏¹

02-5 三叉神経痛を発症した全身性エリテマトーデスの1例

¹杏林大学 医学部 腎臓・リウマチ膠原病内科学、²杏林大学 医学部 病理学

○山本^{やまもと} 陣^{じん}¹、池谷 紀子¹、鮎澤 信宏¹、久木元 光¹、川嶋 聡子¹、川上 貴久¹、
岸本 暢将¹、長濱 清隆²、磯村 杏耶²、駒形 嘉紀¹

12:30-13:30

ランチョンセミナー 3

P.56

座長：中島 敦夫（上野透析クリニック）

共催：アステラス製薬株式会社

LS3-1 関節リウマチにおける関節破壊抑制メカニズムについて ～ JAK阻害剤の可能性を探る～

愛知医科大学 骨粗鬆症・ロコモ・関節疾患センター

○中村 幸男

LS3-2 診療ガイドラインと全例調査から、JAK阻害薬の適正使用を考える

三重大学 医学部附属病院 リウマチ・膠原病センター

○中島亜矢子

14:00-15:00

アフタヌーンセミナー 1

P.67

座長：秋山 雄次（埼玉医科大学リウマチ膠原病科）

共催：中外製薬株式会社

AS1-1 RAに合併する間質性肺炎にwindow of opportunityはあるか ～ IL-6 阻害の重要性含めて～

慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科

○秋山 光浩

AS1-2 RWDから腎障害合併関節リウマチに対する治療戦略を再考する

東京女子医科大学 医学部 内科学講座 膠原病リウマチ内科学分野 リウマチ性疾患先進的集学医療寄附研究部門

○樋口 智昭

15:30-16:20

一般演題 3 SSc / IgG4

P.83

座長：白井悠一郎（日本医科大学大学院医学研究科 アレルギー膠原病内科学分野）

O3-1 後期高齢発症のびまん皮膚硬化型全身性強皮症（dcSSc）に対してトシリズマブが有用であった2例

日本医科大学付属病院 リウマチ・膠原病内科

○佐々木優李、四茂野恵奈、桑名 正隆

O3-2 吸着型血液浄化器（レオカーナ）が奏功した難治性手指潰瘍を伴う全身性強皮症の一例

虎の門病院 リウマチ膠原病科腎センター内科

○岸岡 歩、長谷川詠子、関根 章成、井上 典子、田中 希穂、澤 直樹、
和田 健彦

- 03-3 全身性強皮症による腸管病変に対し、リツキシマブが奏功した1例
 埼玉医科大学総合医療センター リウマチ膠原病内科
 ○小坂 泰司、青木 拓海、吉永 正一、柴田 明子、酒井 亮太、倉沢 隆彦、
 花岡 洋成、天野 宏一
- 03-4 水腎症を呈する後腹膜線維症がありIgG4関連疾患を疑われて当科を紹介受診し、
 生検の結果、アミロイドーシスと診断した一例
¹国立病院機構東京医療センター リウマチ膠原病内科、²国立病院機構東京医療センター 臨床検査科
 病理
 ○小西美沙子¹、田畑 広樹¹、羽磨 智史¹、大重 達寛¹、泉 啓介¹、白石 淳一²、
 岡野 裕¹、大島 久二¹、鈴木 勝也¹
- 03-5 腹腔鏡視下生検で診断に至ったIgG4関連後腹膜線維症・大動脈周囲炎の1例
 虎の門病院分院腎センター内科
 ○谷水 暉、大庭 悠貴、栗原 重和、山内 真之、諏訪部達也、乳原 善文、
 澤 直樹

第4会場

9:00-11:00

ハンズオンセミナー 関節エコーセミナー

P.76

座長：小笠原倫大（順天堂大学医学部 膠原病内科）

共催：アッヴィ合同会社

演者／解説

池田 啓（獨協医科大学 リウマチ・膠原病内科）

トレーナー

青木 和利（青木内科クリニック）

小笠原倫大（順天堂大学医学部 膠原病内科）

高木 賢治（彩の国東大宮メディカルセンター 膠原病・リウマチ内科）

堀越 正信（さいたま赤十字病院 膠原病・リウマチ内科）

山下美奈子（埼玉医科大学総合医療センター 中央検査部）

12:30-13:30

ランチオンセミナー4

P.58

座長：舟久保ゆう（埼玉医科大学リウマチ膠原病科）

共催：田辺三菱製薬株式会社／ヤンセンファーマ株式会社

LS4 関節リウマチにおけるTNF阻害薬治療が適する患者について
 ～ TNF阻害の意義を再考する～

順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院内科（膠原病リウマチ内科）

○野澤 和久

14:00-15:00

アフタヌーンセミナー 2

P.69

座長：瀬戸口京吾（都立駒込病院膠原病科）

共催：あゆみ製薬株式会社

AS2 医療経済の観点から関節リウマチ治療を考える

埼玉医科大学 医学部 リウマチ膠原病科

○荒木 靖人

15:30-16:20

一般演題4 Castleman病、その他

P.86

座長：乳原 善文（虎の門病院 リウマチ膠原病科）

O4-1 多中心性キャッスルマン病に合併した自己免疫疾患にトシリズマブ単剤療法が奏功した2例

慶應義塾大学病院 リウマチ膠原病内科

○齋藤 紘一、秋山 光浩、武井 裕史、近藤 泰、菊池 潤、花岡 洋成、金子 祐子

O4-2 キャッスルマン病疑いに合併した肺動脈性肺高血圧症の1例

埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科

○柴田 明子、青木 拓海、小坂 泰司、吉永 正一、酒井 亮太、倉沢 隆彦、花岡 洋成、天野 宏一

O4-3 治療反応性一過性の血球減少を呈したRAEB合併Sweet症候群の一例

上都賀総合病院

○谷口 夢子、花岡 亮輔、萩野谷敏子、小松 紗良、坂上 友亮

O4-4 血小板減少が遷延し出血を繰り返したTAFRO症候群の1例

群馬大学医学部附属病院 腎臓・リウマチ内科

○佐藤 広宣、佐藤 俊介、金谷あずさ、今井 陽一、木下 雅人、諏訪 絢也、大石 裕子、池内 秀和、金子 和光、廣村 桂樹

O4-5 関節リウマチ様症状を呈した、梅毒、後天性免疫不全症候群の一例

¹東邦大学 医学部 内科学講座膠原病学分野、²東邦大学 医学部 腎臓学講座、³東邦大学 医学部 総合診療・救急医学講座、⁴東邦大学 医学部 眼科学講座、⁵東邦大学 医学部 皮膚科学講座

○木村由季^{1,2}、渡邊 萌理¹、金地 美和¹、佐藤 高広³、山内 悠也⁴、海老原 椿⁵、入田 泉¹、古川 果林¹、小柴 慶子¹、山田 善登¹、増岡正太郎¹、川添 麻衣¹、杉原 毅彦¹、西尾 純子¹、南木 敏宏¹

[2024年12月8日(日)]

第1会場

9:00-10:30

**企画セミナー④ 整形外科医と内分泌内科医とで語り合おう
～骨代謝と骨粗鬆症～**

P.50

座長：石橋 英明 (伊奈病院 整形外科)
竹内 靖博 (虎の門病院 内分泌代謝内科)

みやじま つよし
宮島 剛 (埼玉医科大学 整形外科・脊椎外科)

いのうえ れいこ
井上 玲子 (帝京大学ちば総合医療センター 内分泌代謝内科)

10:40-11:40

スポンサーセミナー2

P.75

座長：天野 宏一 (埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科)

共催：大正製薬株式会社

SS2 新規 TNF 阻害薬オゾラリズマブの最新知見

埼玉医科大学 学長/慶應義塾大学 名誉教授

たけうち つとむ
○竹内 勤

12:00-13:00

ランチョンセミナー5

P.59

座長：田中 住明 (北里大学メディカルセンター リウマチ・膠原病内科)

共催：旭化成ファーマ株式会社

LS5-1 間質性肺炎を考慮したRA治療戦略

慶應義塾大学 医学部 リウマチ・膠原病内科

あきやま みつひろ
○秋山 光浩

LS5-2 慢性腎臓病と関節リウマチ, リウマチ医の視点で腎臓を守る

埼玉医科大学 総合医療センター リウマチ・膠原病内科

はなおか ひろなり
○花岡 洋成

13:20-14:50

**企画セミナー⑥ 膠原病内科医と呼吸器内科医とで語り合おう
～炎症性筋疾患合併間質性肺炎～**

P.52

座長：佐藤 慎二 (東海大学 リウマチ内科)
坂東 政司 (自治医科大学 呼吸器内科)

ごの たかひさ
五野 貴久 (日本医科大学 リウマチ・膠原病内科)

ふじさわ ともゆき
藤澤 朋幸 (浜松医科大学 呼吸器内科)

15:00-17:00

会長特別企画シンポジウム

リウマチ専門クリニックの現状と未来を語る

P.40

座長：天野 宏一（埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科）
桃原 茂樹（医療法人社団 博恵会 草薙整形外科リウマチクリニック）

これからのリウマチ性疾患・膠原病専門クリニックモデルについて
～高次機能医療機関・専門クリニック・かかりつけ医地域ネットワークの育成と
将来像～

あずまリウマチ・内科クリニック

あずま たかのり
○東 孝典

都内におけるリウマチクリニック開業の課題と展望

世田谷調布大友内科リウマチ科千歳烏山院

おおともこうたろう
○大友耕太郎

リウマチ膠原病診療における双方向性病診連携の取り組みと展望

茅ヶ崎東海岸クリニック 内科・リウマチ科

すずき みさこ
○鈴木美佐子

当院のリウマチ治療の状況と問題点

でいリウマチ科内科クリニック

でい よしあき
○出井 良明

整形外科とリウマチ専門クリニック開業の現状と展望

そがりウマチ・整形外科

りい たいけん
○梨井 泰鉉

安心してかかれるリウマチクリニックを目指して

ふかや内科リウマチクリニック

ふかや しんじ
○深谷 進司

群馬県における新規整形外科・リウマチ科専門クリニック開設の取り組み

よねもと整形外科 リウマチ・骨粗しょう症クリニック

よねもと ゆきお
○米本由木夫、岡邨 興一

第2会場

9:00-10:30

企画セミナー⑤ 膠原病内科医と循環器内科医とで語り合おう ～肺高血圧症～

P.51

座長：桑名 正隆（日本医科大学 リウマチ・膠原病内科）
藤田 英雄（自治医科大学さいたま医療センター循環器内科）

たなか すみあき
田中 住明（北里大学メディカルセンター リウマチ・膠原病内科）
たむら ゆういち
田村 雄一（国際医療福祉大学三田病院 循環器内科）

10:40-11:40

教育研修講演6

P.39

座長：駒形 嘉紀（杏林大学腎臓・リウマチ膠原病内科学）

EL6 ANCA関連血管炎 ～診断から治療まで～

聖路加国際病院 リウマチ膠原病センター

たまき ひろみち
○田巻 弘道

12:00-13:00

ランチョンセミナー6

P.61

座長：横川 直人（東京都立病院機構東京都立多摩総合医療センター リウマチ膠原病科）

共催：アストラゼネカ株式会社

LS6-1 SLE治療における生物学的製剤が果たす役割～アニフロルマブを中心に～

慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科

かねこ ゆうこ
○金子 祐子

LS6-2 全身性エリテマトーデスの病態に関する最新知見

～アニフロルマブの役割を考える～

聖マリアンナ医科大学リウマチ・膠原病・アレルギー内科

かわはた きみと
○川畑 仁人

13:20-14:20

JCR 関東支部地域教育研修会2 医療安全

P.33

座長：天野 宏一（埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科）

JCR-EL2 医療安全管理のために知っておきたい法的知識

虎の門病院 医療安全部

なかじま すずむ
○中島 勸

O10-1 胸膜炎・心膜炎を合併したANCA関連血管炎の一例

帝京大学 医学部 内科

○中島^{なかにしま} 壘^{るい}、竹田 七海、大久保麻衣、浅子 来美、菊地 弘敏、河野 肇

O10-2 多彩な頭頸部血管病変を呈し潰瘍性大腸炎、転移性大腸癌を併発した多発血管炎性肉芽腫症の1例

¹防衛医科大学校病院、²北九州市立医療センター 膠原病内科○多田^{ただ} 堯^{のりひさ}、草薙 恭圭¹、吉田 良知²、伊藤 健司¹、木村 文彦¹

O10-3 リツキシマブ単剤で寛解導入し、治療が奏功した顕微鏡的多発血管炎の1例

¹埼玉石心会病院、²埼玉医科大学総合医療センター○岩井^{いわい} 孝憲^{たかのり}、青木 拓海²、小坂 泰司²、吉永 正一²、柴田 明子²、酒井 亮太²、倉沢 隆彦²、花岡 洋成²、天野 宏一²

O10-4 顔面動脈・後頭動脈病変による顎跛行・後頭部痛を呈したMPO-ANCA陽性ANCA関連血管炎の1例

総合病院国保旭中央病院 アレルギー・膠原病内科

○高橋^{たかはし} 樹^{たつき}、杉山 隆広、伊藤 康彦、小沢 一世、村松 瑤紀、竹村 浩至、松浦 功、加々美新一郎

O10-5 繰り返す嘔吐で発症した顕微鏡的多発血管炎再燃に伴う小脳周囲を中心とした肥厚性硬膜炎の1例

国立国際医療研究センター病院 膠原病科

○林^{はやし} 繭子^{まゆこ}、山下 裕之、三澤佑太郎、山本 有人、秋山 優弥、原田 拓弥、金子 礼志

O10-6 チアマゾール誘発性ANCA関連血管炎に腸管穿孔を合併した一例

自治医科大学附属病院 アレルギー・リウマチ科

○谷^{たに} 礁^{しろう}、小峰 弘寛、石澤 彩子、山本翔太郎、佐藤浩二郎

第3会場

9:00-9:40

一般演題5 SLE / 膠原病/その他

P.89

座長：酒井 亮太（埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科）

05-1 関節リウマチ治療中に発症し、SLE合併自己免疫性好中球減少症が疑われた一例
東邦大学 医学部 内科学講座 膠原病学分野(大橋)

○今泉ちひろ、峰岸 靖人、小倉 剛久、亀田 秀人

05-2 肝硬変を合併した抗リン脂質抗体陽性SLEにおける腎生検後出血に対する迅速な腎動脈塞栓術で腎機能低下を回避した一例

国家公務員共済組合連合会虎の門病院腎センター内科

○吉本 雅俊、栗原 重和、山内 真之、諏訪部達也、大庭 悠貴、乳原 善文、
和田 健彦、澤 直樹

05-3 膠原病性疾患に伴う急性呼吸窮迫症候群へのトシリズマブの有効性の検討

¹北里大学 医学部 リウマチ膠原病・感染内科学、²北里メディカルセンター リウマチ・膠原病内科

○吉岡 聖剛¹、松枝 佑¹、次田 奈央¹、池田 慶介¹、阪本 陽介¹、長谷川靖浩¹、
田中 知樹¹、和田 達彦¹、田中 住明^{1,2}、奥 健志¹、山岡 邦宏¹

05-4 JAK2 V617F変異陽性の本態性血小板血症に伴うリウマチ性疾患の2例

独立行政法人 労働者健康安全機構 千葉労災病院 アレルギー・膠原病内科

○橋本 千尋、鈴木 惇也、熊谷 崇、玉地 智宏

10:00-10:50

一般演題6 IIM 1

P.91

座長：近藤 泰（慶應義塾大学医学部リウマチ・膠原病内科）

06-1 大腸癌を合併した抗OJ抗体陽性皮膚筋炎の一例

横浜市立みなと赤十字病院 膠原病リウマチ内科

○齋藤真一郎、萩山 裕之、近藤 文彬、木村 仁紀

06-2 Focal myositisの臨床像を呈した抗ARS抗体陽性の1例

¹杏林大学医学部付属病院 腎臓・リウマチ膠原病内科、²杏林大学医学部付属病院 脳神経内科、³杏林大学医学部付属病院 病理診断科

○池田 慶人¹、池谷 紀子¹、木村 直仁²、吉崎 彩織²、海永 光洋²、徳重 真一²、
加藤憲一郎³、磯村 杏耶³、川嶋 聡子¹、川上 貴久¹、岸本 暢将¹、市川弥生子²、
藤原 正親³、柴原 純二³、駒形 嘉紀¹

06-3 アバタセプトが奏功した関節リウマチ合併抗ARS抗体症候群に伴う間質性肺疾患の1例

東京大学医学部附属病院 アレルギー・リウマチ内科

○佐藤 琢哉、清水 寿顕、美野 名波、土田 優美、土屋 遥香、藤尾 圭志

- O6-4 抗Mi-2抗体陽性皮膚筋炎の初発症状として心筋梗塞を呈していた一例
 湘南鎌倉総合病院 リウマチ膠原病内科
 ○百浦 恭平、角谷 拓哉、井本侑太郎、鎌田 理子
- O6-5 ステロイド抵抗性の抗Mi-2抗体陽性皮膚筋炎にIVIGが著効した一例
 順天堂大学 医学部附属 浦安病院
 ○内野有理紗、西 卓也、川又 望実、大谷 友也、鈴木 智、池田 圭吾、
 森本 真司

11:00-11:50

一般演題7 IIM 2

P.94

座長：五野 貴久（日本医科大学 リウマチ・膠原病内科）

- O7-1 救命及び寛解が得られた末梢血幹細胞移植後に発症した抗MDA 5抗体陽性皮膚筋炎の1例
 防衛医科大学校病院
 ○井上 直紀、多田 堯央、清水 健、藤澤 梨花、草薙 恭圭、木村 文彦、
 伊藤 健司
- O7-2 抗NXP2抗体陽性皮膚筋炎（NXP2-DM）の多様な臨床像
 ～自験例4症例のまとめ
 東京都立墨東病院 リウマチ膠原病科
 ○菅原 啓太、杉森 祐介、児玉 理恵、西川 卓治、島根 謙一
- O7-3 COVID-19罹患後に発症した消化管病変を繰り返す抗NXP2抗体陽性皮膚筋炎の一例
 昭和大学医学部 内科学講座リウマチ膠原病内科学部門
 ○高橋 克典、石井 翔、井上 優子、河森 一毅、多田 堯央、林 智樹、
 羽多野美香、矢嶋 宣幸
- O7-4 多発性筋炎治療中にCOVID19感染を契機として発症した強皮症性腎クリーゼの1例
 湘南鎌倉総合病院 リウマチ膠原病内科
 ○角谷 拓哉、井本侑太郎、百浦 恭平、鎌田 理子
- O7-5 心機能低下を契機に診断された抗ミトコンドリア抗体陽性筋炎
 東京医科大学病院 リウマチ・膠原病内科
 ○北原 雅之、庄田 宏文、猪狩 滋元、藤森 大輝、水内 隆浩、山本 祐輔、
 林 映、太原恒一郎、沢田 哲治

12:10-13:10

ランチョンセミナー7

P.63

座長：舟久保ゆう（埼玉医科大学リウマチ膠原病科）

共催：ファイザー株式会社

LS7-1 発売11年のエビデンスからトファシチニブの安全性を考える

聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科

○高桑由希子

LS7-2 JAK阻害薬のポジショニングを再考する ～11年のエビデンスより～

島根大学医学部 膠原病内科学講座

○一瀬 邦弘

13:30-14:20

一般演題8 GCA / 大動脈炎

P.97

座長：六反田 諒（亀田総合病院 リウマチ膠原病アレルギー内科）

O8-1 肺多発結節影・肝外門脈狭窄を伴う大～中型動脈主体の血管炎を認めた、巨細胞性動脈炎の一例

¹東京大学医学部附属病院 アレルギー・リウマチ内科、²東京大学医学部附属病院 病理部

○川島 麗未¹、山田紗依子¹、斉藤 禎晃¹、美野 名波¹、岩崎 晶子²、安永 瑛一²、土屋 遥香¹、牛久 哲男²、藤尾 圭志¹

O8-2 左腕神経叢炎で発症した巨細胞性動脈炎の一例

順天堂大学 医学部 膠原病内科

○中村 航、齋藤 拓海、萩原 通友、西岡 雄仁、牧山 彩子、多田久里守、山路 健、田村 直人

O8-3 水平半盲で発症し巨細胞性動脈炎と診断した一例

筑波大学医学医療系 膠原病リウマチアレルギー内科

○吉田 仁美、菱沼 智紀、浅島 弘充、村田 琴美、山田 萌、川島 典奈、川島 朗、植松 奈々、柳下 瑞希、大山 綾子、安部 沙織、北田 彩子、近藤 裕也、坪井 洋人、松本 功

O8-4 COVID-19罹患後に大動脈炎を発症し自然軽快した一例

¹国立国際医療研究センター病院 膠原病科、²国立国際医療研究センター研究所 難治性疾患研究部

○大山 節子¹、山下 裕之¹、山地 実紗¹、浅野 麻衣²、松永 章弘²、高橋 広行¹、石坂 幸人²、金子 礼志¹

O8-5 トシリズマブの単回投与が奏功した、G-CSF誘発性大動脈炎の一例

¹慶應義塾大学 医学部 リウマチ・膠原病内科、²慶應義塾大学 医学部 整形外科

○嶋貫佳奈子¹、近藤 泰¹、中山口バート²、武井 裕史¹、菊池 潤¹、秋山 光浩¹、花岡 洋成¹、金子 祐子¹

14:40-15:40

アフタヌーンセミナー3

P.70

座長：三村 俊英（埼玉医科大学リウマチ膠原病科）

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社／小野薬品工業株式会社

AS3 関節リウマチにおける抗原提示細胞と共刺激阻害療法の最新の知見

東京大学大学院医学系研究科内科学専攻 アレルギー・リウマチ学

○藤尾 圭志

第4会場

9:00-9:50

一般演題（学生・研修医）1 AAV

P.106

座長：田巻 弘道（聖路加国際病院 リウマチ膠原病センター）

OS1-1 肥厚性硬膜炎を繰り返し視神経障害を合併して失明した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）の一例

国立国際医療研究センター 国府台病院 リウマチ膠原病科

○芳野 滉、増井 良則、小泉 諒、平賀 顕一、津田 尚法、猪熊 茂子、狩野 俊和

OS1-2 早期メボリズマブ導入により5ヶ月でグルココルチコイドを終了したANCA陰性好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）の1例

¹東海大学医学部付属病院 臨床研修部、²東海大学 医学部 内科学系 リウマチ内科学、³大和徳洲会病院

○山本 康太¹、青木 海斗²、大久 俊輝²、杉山 麻衣²、志村 佳翔²、石井 晶²、太田裕一朗²、山田 千穂²、津川 奏³、川本 龍成³、佐藤 慎二²

OS1-3 診断に苦慮した肺内多発空洞陰影を伴う多発血管炎性肉芽腫症の一例

獨協医科大学 リウマチ・膠原病内科

○江田 尋香、前澤 玲華、諏訪 瑞貴、竹越麻祐子、長 櫻子、佐藤 理華、相澤 有紀、吉田 雄飛、長谷川杏奈、宮尾 智之、田中 彩絵、新井 聡子、有馬 雅史、倉沢 和宏、池田 啓

OS1-4 亜急性経過の多発脳神経徴候を契機に多彩な病変を認めたC-ANCA陽性の肥厚性硬膜炎の1例

総合病院 国保旭中央病院 アレルギー膠原病内科

○田前 麻生、村松 瑤紀、高橋 樹、伊藤 康彦、小沢 一世、杉山 隆広、竹村 浩至、松浦 功、加々美新一郎

OS1-5 難治性肥厚性硬膜炎を伴う多発血管炎性肉芽腫症の1例

¹東海大学医学部付属病院 臨床研修部、²東海大学 医学部 内科学系 リウマチ内科学

○松本 綾乃¹、青木 海斗²、山田 千穂²、大久 俊輝²、杉山 麻衣²、志村 佳瑚²、石井 晶²、太田裕一郎²、佐藤 慎二²

10:00-10:50

一般演題（学生・研修医）2 RA / SpA

P.109

座長：中島 新（東邦大学医療センター佐倉病院 整形外科）

OS2-1 MTXによる汎血球減少の改善に伴い顕在化したPCPの治療中に薬剤性TMAを発症した関節リウマチの一例

¹茨城西南医療センター病院 リウマチ・膠原病内科、²筑波大学附属病院 膠原病リウマチアレルギー内科

○中川 大¹、植松 奈々²、江辺 広志¹

OS2-2 間質性肺炎合併肺癌術後の急性増悪にステロイドパルスが奏功した関節リウマチの一例

東京医科大学 八王子医療センター

○岡田 佳世、中村 太陽、山下 昌平、中津川宗秀、梶原 直央、庄田 宏文、小林 弘

OS2-3 Crohn病に伴う末梢性脊椎関節炎に対してウパダシチニブが奏功した2例

慶應義塾大学 医学部 リウマチ・膠原病内科

○鈴木 浩司、秋山 光浩、井口 創、齋藤 紘一、花岡 洋成、金子 祐子

OS2-4 リウマチケア看護師の活動報告

¹青木内科クリニック、²あずまりウマチ内科クリニック、³伊奈病院、⁴新座志木中央総合病院、⁵順天堂大学医学部付属順天堂越谷病院、⁶茨城西南医療センター病院、⁷かずかべ整形外科内科ほまれクリニック

○横山 里子¹、新井由美子²、伊藤 晴子³、荒井 信子⁴、中原 真美⁵、高木亜矢子⁶、春田みどり⁷

OS2-5 医師・リハ科・検査科のチームでフォローすることで未分類関節炎から非典型的seronegativeRAと診断し早期介入した一例と当院での対応方法

あずまりウマチ・内科クリニック

○堀内 智成、酒井なつき、千種佐知子、小林 春樹、森山 悠司、清水 正一、梅野 拓海、齋藤 浩紀、林 侑太郎、東 孝典

11:00-12:00

一般演題（学生・研修医）3 その他

P.112

座長：河野 肇（帝京大学医学部内科学講座）

OS3-1 溶連菌感染と同時期にベーチェット病を発症した1例

市立吹田市民病院

○裏岡 孝則、宮本 愛子、佐々木裕哉、鬼追 芳行、依藤 秀樹、片田 圭宣

OS3-2 抗MDA-5抗体陽性筋無症性皮膚筋炎による難治性皮膚病変にヒドロキシクロロキンが奏功した1例

総合病院国保旭中央病院 アレルギー・膠原病内科

○平松 佑基、杉山 隆広、高橋 樹、伊藤 康彦、小沢 一世、村松 瑤紀、竹村 浩至、松浦 功、加々美新一郎

OS3-3 アトピー性皮膚炎に対するBaricitinibによりリウマチ性多発筋痛症が寛解した一方で角化型疥癬が出現した一例。

¹虎の門病院 分院 腎センター内科・リウマチ膠原病科、²虎の門病院 分院 皮膚科

○今峰 賢汰¹、大庭 悠貴¹、吉本 雅俊¹、栗原 重和¹、山内 真之¹、諏訪部達也¹、乳原 善文¹、林 伸和²、澤 直樹¹

OS3-4 悪性腹膜中皮腫に対する免疫チェックポイント阻害薬で結節性多発動脈炎の免疫関連有害事象を発症した全身性強皮症の一例

慶應義塾大学 医学部 リウマチ・膠原病内科

○安斉 彩、羽磨 智史、武井 裕史、秋山 光浩、近藤 泰、菊池 潤、花岡 洋成、金子 祐子

OS3-5 巨細胞性動脈炎様の症状で発症したVEXAS症候群の一例

横浜市立大学附属病院 血液・リウマチ・感染症内科

○内山 琴音、小宮 孝章、松本 未於、張田 佳代、櫻井 菜月、濱田 直樹、前田 彩花、平原 理沙、副島裕太郎、峯岸 薫、吉見 竜介、桐野 洋平、中島 秀明

OS3-6 ウパダシチニブが有効であった多中心性細網組織球症の一例

東京慈恵会医科大学 リウマチ膠原病内科

○菊池日向子、松下 嵩之、大谷 一博、黒坂大太郎

12:20-13:20

ランチオンセミナー8

P.65

座長：三村 俊英（埼玉医科大学リウマチ膠原病科）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

LS8-1 自己炎症疾患におけるIL-1 β の活性化制御とその寄与

愛媛大学 医学部 解析病理学

○増本 純也

LS8-2 家族性地中海熱update

信州大学 医学部 脳神経内科、リウマチ・膠原病内科

○岸田 大

13:40-14:30

一般演題9 PAN、その他

P.100

座長：安倍 能之（順天堂大学 医学部 膠原病内科）

- 09-1 ヒトパルボウイルスB19感染により成人発症Still病を発症した76歳男性の1例
湘南鎌倉総合病院 リウマチ膠原病内科
○井本侑太郎、角谷 拓哉、百浦 恭平、鎌田 理子
- 09-2 TNF阻害薬投与中に無菌性肺膿瘍を合併したベーチェット病の一例
筑波大学医学医療系 膠原病リウマチアレルギー内科
○山田 萌、大山 綾子、柳下 瑞希、安倍 沙織、北田 彩子、浅島 弘充、
近藤 裕也、坪井 洋人、松本 功
- 09-3 EBウイルス再活性化を契機に発症した結節性多発動脈炎の1例
国立国際医療研究センター病院 膠原病科
○山本 有人、山下 裕之、大山 節子、林 繭子、三澤佑太郎、秋山 優弥、
原田 拓弥、金子 礼志
- 09-4 間欠性跛行が主症状で筋生検で診断された結節性多発動脈炎の1例
埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科
○青木 拓海、小坂 泰司、吉永 正一、柴田 明子、酒井 亮太、倉沢 隆彦、
花岡 洋成、天野 宏一
- 09-5 血管炎の診断に先行して発症した網膜中心動脈閉塞症の一例
湘南鎌倉総合病院 リウマチ科
○鎌田 理子、井本侑太郎、百浦 恭平、角谷 拓哉

14:50-15:50

アフタヌーンセミナー4

P.71

座長：廣瀬 恒（医療法人社団光城会ひろせクリニック）

共催：エーザイ株式会社

- AS4-1 RA診療ガイドライン2024の改訂ポイント
～MTX皮下注の有用性をふまえて～
京都府立医科大学大学院医学研究科 免疫内科学
○川人 豊
- AS4-2 関節リウマチにおけるメトトレキサート治療の最適化
～メトジェクトのはたす役割を考える～
聖マリアンナ医科大学リウマチ・膠原病・アレルギー内科
○川畑 仁人